

保護者各位



ほけんだより

令和3年11月9日
大塚保育園
大塚子どもふれあい館



10月感染症情報



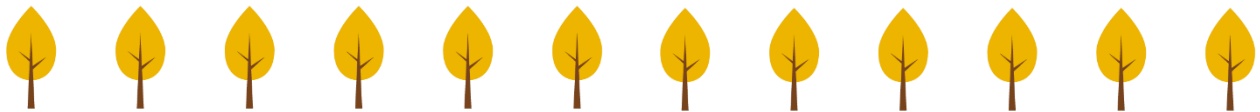
本園

ヘルパンギーナ	5名
突発性発疹	1名
感染性胃腸炎	1名

分園

ヘルパンギーナ	1名
---------	----

10月に入り、一気に寒暖差が激しくなり、気候の変化に体が対応しきれず、体調を崩すお子さんも増えています。湿度も下がり、乾燥も強くなってきています。室内の温度や湿度にも気を付け、基本的な感染予防対策をしっかりと心がけていきましょう。



㊦医療証更新コピーの提出をお願いします。

10月1日より㊦医療証の更新がされています。

万が一、ケガ等で医療機関を受診する場合、保険証・㊦医療証の確認が必要になりますので、お手数ではございますが、新しい㊦医療証のコピーの提出をよろしくお願い致します。

提出期限：11月19日(金)まで

また、職場変更等で保険証が変更した場合も、コピーの提出をしていただきますよう、よろしくお願い致します。

食べる時、よく噛んでいますか？

秋も一段と深まり、おいしい食材が沢山でてきますね。11月8日は「いい歯の日」です。

食事を食べる時、右左右左と、順番によく噛んで食べていますか？よく噛んで食べることは、体にいいことが沢山あります。

あごの発育やむし歯予防、肥満予防にも繋がります。ゆっくり食べて満腹感を味わうことが出来たり、ホルモン分泌も高まって食欲が抑えられたりします。

食事に歯ごたえのある物を取り入れたりして、無理なく噛む回数が増えるようにしてみてもいいかがでしょうか？

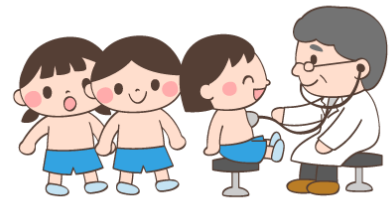


11月の保健行事

11月10日（水） 乳児健康診断（ゆめ組・ひよこ組）

*10月の秋季健康診断を受けられなかったお子さんは、11月10日に健診を行います。体調不良以外は登園していただきますよう、ご協力お願い致します。

また、登園できず健診を受けられなかった場合は、「受診票」をお渡し致しますので、佐々木医院にて健診を受けていただきます。



低温やけどに注意

ホットカーペットや使い捨てカイロに長時間ふれることで起こる「低温やけど」

痛みを感じにくく、重症化しやすいのが特徴。肌が赤くなり子どもが痛がゆく感じていたら要注意。

応急処置



痛みが和らぐまで流水で冷やす。最低20分くらいは冷やし続け、その後病院へ。

広範囲のやけどは、冷水でぬらしたシーツなどで全身を覆い、シャワーをかける。その後病院へ。

急性胃腸炎（感染性胃腸炎）に注意しましょう

秋から冬にかけて「ノロウイルス」、冬から春先には「ロタウイルス」のウイルス性胃腸炎が発生します。

ノロウイルス・ロタウイルスに感染すると、嘔吐と水のようなひどい下痢の症状が起こります。高熱はあまり出ませんが、嘔吐や下痢で体内の水分が失われ、脱水症状になると危険です。もし感染してしまった場合は、水分補給をこまめにとり、安静にして過ごしましょう。

おう吐・下痢のケア



子ども用イオン飲料や湯冷ましを少しずつ、こまめに与える

おしりはこすらずにお湯で洗い、タオルで軽く押さえて水分をふき取る

知っておこう

おう吐物の処理

冬場に流行するウイルス性胃腸炎は、ノロウイルスやロタウイルスなどによって感染します。家庭でも二次感染予防のために、おう吐物の処理にご留意ください。

- ① 窓を開けて使い捨ての手袋とマスクを着け、使い捨ての布などでおう吐物を周辺からふき取る。
- ② 次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を薄めた消毒液で、おう吐物のあった部分を再度ふく。汚れた物はすべてポリ袋に入れ、それらは、消毒液をかけてから密封して捨てる。
- ③ おう吐物の付いた服は、85℃以上の熱湯に1分間つけてから洗濯する。
- ④ さらに乾燥機にかけたり、アイロンをかけたりすると、熱に弱いノロウイルスは死滅しやすい。

